

## ■ こども学科

はじめに

こども学科では、乳幼児の健やかな成長を促すことができ、また、家庭や地域社会と連携できる保育者・幼児教育者の育成を目指します。

教育課程の履修により、「保育士」と「幼稚園教諭」、そして「社会福祉主事任用」の資格を取得することができます。2年間という最短の期間でこれらの資格取得を目指すためには、入学から卒業まで、計画的に履修する必要があります。

講義科目、演習科目に加え、保育実習・教育実習により、学ぶ楽しさを知り、そして自信をもって就職できるように日々取り組んでいきましょう。

特に変更がない限り、この手引きに従って卒業まで履修することになります。手引きをよく読み、わからないことがあれば、教員もしくは事務局に確認してください。

1 教育課程（カリキュラム）

こども学科の教育課程（カリキュラム）は、以下のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数		
			1年		2年		必修	選択	
			前期	後期	前期	後期			
教養教育分野	人間と文化 ※3単位必修	英語Ⅰ	15	○				1	
		英語Ⅱ	15		○			1	
		日本語表現法	15	○				1	
	人間と社会 ※6単位必修	日本国憲法	15	○				2	
		現代の社会	15	○				2	
		法律入門	15		○			2	
	人間と科学 ※4単位必修	体育基礎	8	○				1	
		体育実技	15		○			1	
		情報処理Ⅰ	15	○				1	
		情報処理Ⅱ	15			○		1	
		レクリエーション論	8	○					1
	専門教育分野	幼児教育の基礎 ※4単位以上選択	幼児と環境	15	○				2
幼児と健康			8		○			1	
幼児と表現			15	○				2	
幼児と人間関係			8		○			1	
基礎技能 ※2単位以上選択		音楽表現Ⅰ	15	○				1	
		音楽表現Ⅱ	15		○			1	
		音楽表現Ⅲ	15			○		1	
		造形表現	15		○			1	
		総合表現演習Ⅰ	15		○			1	
		総合表現演習Ⅱ	15			○		1	
教育及び保育の本質 ※6単位必修		教職論	15		○			2	
		保育原理	15		○			2	
		教育原理	15	○				2	
		社会福祉	15	○				2	
教育及び保育の制度 ※2単位以上選択		教育制度論	8	○				1	
		子ども家庭福祉	15	○				2	
		社会的養護Ⅰ	15		○			2	
教育及び保育の対象理解 ※3単位必修		子ども理解の理論と方法	15	○				1	
		生涯発達心理学Ⅰ	15		○			2	
		生涯発達心理学Ⅱ	15			○		2	
		乳児保育Ⅰ	15			○		2	
教育及び保育の計画と方法 ※12単位必修		カリキュラム論	15			○		2	
		保育内容の指導法（総論）	15	○				1	
		保育内容の指導法（健康）	15			○		1	
		保育内容の指導法（人間関係）	15			○		1	
		保育内容の指導法（環境）	15		○			1	
		保育内容の指導法（言葉）	15		○			1	
		保育内容の指導法（表現）	15			○		1	
		特別支援教育演習Ⅰ	15		○			1	
		特別支援教育演習Ⅱ	15			○		1	
	乳児保育Ⅱ	15			○		1		
	教育相談	15			○		1		
	教育方法論	15			○		2		
	社会的養護Ⅱ	15			○		1		
	子どもの保健	15		○			2		
	子どもの健康と安全	15			○		1		
	家庭支援論	15				○	2		
	子どもの食と栄養	30				○	2		
	子育て支援	15				○	1		
総括科目	保育・教職実践演習（幼稚園）	15			○	○	2		
実習	保育実習Ⅰ（保育所）	集中			○		2		
	保育実習Ⅰ（施設）	集中			○		2		
	保育実習指導Ⅰ	15			○		2		
	保育実習Ⅱ	集中				○	2		
	保育実習指導Ⅱ	15			○		1		
	保育実習Ⅲ	集中				○	2		
	保育実習指導Ⅲ	15				○	1		
	教育実習Ⅰ	集中		○			1		
	教育実習指導Ⅰ	10		○			1		
	教育実習Ⅱ	集中			○		3		
教育実習指導Ⅱ	15			○		1			
ゼミナール	基礎演習Ⅰ	30		○			2		
	基礎演習Ⅱ	30			○		2		
総計（卒業要件62単位以上）								38	55

※本学では「保育実習Ⅱ」と「保育実習指導Ⅱ」を履修することができる。

### Ⅲ 履修について

## 2 卒業要件

卒業には、次の要件を満たさなければなりません。

(1) こども学科に2年以上在学すること

- 休学期間は在学期間を含めません。
- 在学期間は4年を超えることができません。

(2) 卒業に必要な単位を修得すること

必修科目38単位及び選択科目24単位以上、合計62単位以上を「教養教育分野」及び「専門教育分野」から修得すること

ただし、卒業要件となる62単位以上のうち、46単位については、下表に定める科目区分ごとの単位数を修得しなければなりません。

※資格取得に必要な単位は、卒業に必要な単位とは別に規定されています。履修規程を参照してください。

【卒業要件62単位以上のうち規定されている46単位】

科目区分		単位数
教養教育分野		(必修) 13単位
専門教育分野	幼児教育の基礎	(選択) 4単位
	基礎技能	(選択) 2単位
	教育及び保育の本質	(必修) 6単位
	教育及び保育の制度	(選択) 2単位
	教育及び保育の対象理解	(必修) 3単位
	教育及び保育の計画と方法	(必修) 12単位
	ゼミナール	(必修) 4単位

## 3 卒業要件充足に伴う学位

こども学科の所定の単位を修得し卒業要件を満たすと、短期大学士（こども学）の学位が与えられます。

## 4 履修登録単位数の上限

こども学科では、学生の皆さんが各年次にわたって適切に授業科目を履修できるように、年間の履修登録単位数の上限を54単位と定めています。

履修登録をする際には、上限を超えないように注意してください。

## 5 保育・教職実践演習（幼稚園）の履修について

「保育・教職実践演習（幼稚園）」（2年次後期）は、保育士、幼稚園教諭としての必要な資質を身につけ、総まとめをする科目です。

履修にあたっては、「履修カルテ」と、「自己評価シート」を作成する必要があります。

「履修カルテ」は、資格・免許取得に関わる指定科目について、各科目終了後に作成するものです。「自己評価シート」は履修カルテに基づいて、自身の学習成果を総合的に分析するものです。

## 6 取得できる資格

こども学科では、下記の資格を取得することができます。

- ①保育士資格
- ②幼稚園教諭二種免許状
- ③社会福祉主事任用資格

資格取得のための履修モデルは次のとおりです。

履修モデルを参考にして、資格取得に必要な科目を履修してください。

各資格取得の要件については、卒業要件に係る必修科目及び選択科目とは異なりますので、履修規程を参照してください。

### Ⅲ 履修について

#### Ⅰ. 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状及び社会福祉主事任用資格取得を目指す履修モデル

科目区分	1年次				2年次				取得単位数	
	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数		
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1				3	
		日本語表現法	1							
	人間と社会	日本国憲法	2	法律入門	2				6	
		現代の社会	2							
	人間と科学	体育基礎	1	体育実技	1		情報処理Ⅱ	1	5	
		情報処理Ⅰ	1							
レクリエーション論		1								
小計		9		4			1	14		
専門教育分野	幼児教育の基礎	幼児と環境	2	幼児と健康	1				6	
		幼児と表現	2	幼児と人間関係	1					
	基礎技能	音楽表現Ⅰ	1	音楽表現Ⅱ	1	音楽表現Ⅲ		1	6	
				造形表現	1		総合表現演習Ⅱ	1		
				総合表現演習Ⅰ	1					
	教育及び保育の本質	教育原理	2	教職論	2				8	
		社会福祉	2	保育原理	2					
	教育及び保育の制度	教育制度論	1	社会的養護Ⅰ	2				5	
		子ども家庭福祉	2							
	教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1	生涯発達心理学Ⅰ	2	生涯発達心理学Ⅱ	2		7	
						乳児保育Ⅰ	2			
	教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法(総論)	1	保育内容の指導法(環境)	1	カリキュラム論	2	乳児保育Ⅱ	1	23
				保育内容の指導法(言葉)	1	保育内容の指導法(健康)	1	社会的養護Ⅱ	1	
			特別支援教育演習Ⅰ	1	保育内容の指導法(人間関係)	1	家庭支援論	2		
			子どもの保健	2	保育内容の指導法(表現)	1	子育て支援	1		
					特別支援教育演習Ⅱ	1				
					教育相談	1				
					教育方法論	2				
					子どもの健康と安全	1				
					子どもの食と栄養			2		
	総括科目						保育・教職実践演習(幼稚園)	2	2	
	実習			教育実習Ⅰ	1	教育実習Ⅱ	3		15	
				教育実習指導Ⅰ	1	教育実習指導Ⅱ	1			
					保育実習Ⅰ(保育所)	2				
					保育実習Ⅰ(施設)	2	保育実習Ⅱ	2		
					保育実習指導Ⅰ		2			
					保育実習指導Ⅱ		1			
ゼミナール	基礎演習Ⅰ			2	基礎演習Ⅱ		2	4		
小計		14		22		22		18	76	
合計		23		26		22		19	90	

Ⅱ. 保育士資格を目指す履修モデル

科目区分	1年次				2年次				取得単位数	
	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数		
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1				3	
		日本語表現法	1							
	人間と社会	日本国憲法	2	法律入門	2				6	
		現代の社会	2							
	人間と科学	体育基礎	1	体育実技	1		情報処理Ⅱ	1	5	
		情報処理Ⅰ	1							
レクリエーション論		1								
小計		9		4				1	14	
専門教育分野	幼児教育の基礎	幼児と環境	2	幼児と健康	1				6	
		幼児と表現	2	幼児と人間関係	1					
	基礎技能	音楽表現Ⅰ	1	音楽表現Ⅱ	1	音楽表現Ⅲ		1	6	
				造形表現	1		総合表現演習Ⅱ	1		
				総合表現演習Ⅰ	1					
	教育及び保育の本質	教育原理※	2	教職論	2				8	
		社会福祉※	2	保育原理※	2					
	教育及び保育の制度	教育制度論	1	社会的養護Ⅰ	2				5	
		子ども家庭福祉※	2							
	教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1	生涯発達心理学Ⅰ	2	生涯発達心理学Ⅱ	2		7	
						乳児保育Ⅰ	2			
	教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法(総論)	1	保育内容の指導法(環境)	1	カリキュラム論	2	乳児保育Ⅱ	1	23
				保育内容の指導法(言葉)	1	保育内容の指導法(健康)	1	社会的養護Ⅱ	1	
				特別支援教育演習Ⅰ	1	保育内容の指導法(人間関係)	1	家庭支援論	2	
				子どもの保健	2	保育内容の指導法(表現)	1	子育て支援	1	
						特別支援教育演習Ⅱ	1			
						教育相談	1			
						教育方法論	2			
						子どもの健康と安全	1			
			子どもの食と栄養				2			
	総括科目						保育・教職実践演習(幼稚園)	2	2	
	実習					保育実習Ⅰ(保育所)	2		9	
						保育実習Ⅰ(施設)	2	保育実習Ⅱ		2
					保育実習指導Ⅰ			2		
					保育実習指導Ⅱ			1		
ゼミナール	基礎演習Ⅰ		2	基礎演習Ⅱ			2	4		
小計		14		20		18		18	70	
合計		23		24		18		19	84	

社会福祉主事任用資格取得のためには、※印の4科目の中から、3科目以上の単位を修得することが必要となります。

### Ⅲ 履修について

#### Ⅲ. 幼稚園教諭二種免許状取得を目指す履修モデル

科目区分	1年次				2年次				取得単位数
	前期	単位数	後期	単位数	前期	単位数	後期	単位数	
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1				3
		日本語表現法	1						
	人間と社会	日本国憲法	2	法律入門	2				6
		現代の社会	2						
	人間と科学	体育基礎	1	体育実技	1		情報処理Ⅱ	1	4
情報処理Ⅰ		1							
小計		8		4				1	13
専門教育分野	幼児教育の基礎	幼児と環境	2	幼児と健康	1				6
		幼児と表現	2	幼児と人間関係	1				
	基礎技能	音楽表現Ⅰ	1	音楽表現Ⅱ	1	音楽表現Ⅲ		1	4
				造形表現	1				
	教育及び保育の本質	教育原理※	2	教職論	2				8
		社会福祉※	2	保育原理※	2				
	教育及び保育の制度	教育制度論	1	社会的養護Ⅰ	2				3
	教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1	生涯発達心理学Ⅰ	2	生涯発達心理学Ⅱ	2		7
						乳児保育Ⅰ	2		
	教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法(総論)	1	保育内容の指導法(環境)	1	カリキュラム論	2		17
				保育内容の指導法(言葉)	1	保育内容の指導法(健康)	1		
			特別支援教育演習Ⅰ	1	保育内容の指導法(人間関係)	1	家庭支援論	2	
			子どもの保健	2	保育内容の指導法(表現)	1			
					教育相談	1			
					教育方法論	2			
				子どもの健康と安全	1				
総括科目						保育・教職実践演習(幼稚園)	2	2	
実習			教育実習Ⅰ	1	教育実習Ⅱ	3		6	
			教育実習指導Ⅰ	1	教育実習指導Ⅱ	1			
ゼミナール	基礎演習Ⅰ			2	基礎演習Ⅱ			2	4
小計		12		21		17		7	57
合計		20		25		17		8	70

社会福祉主事任用資格取得のためには、※印の3科目および子ども家庭福祉の中から、3科目以上の単位を修得することが必要となります。

## 7 資格取得に関係する主なスケジュール

各資格取得に関するガイダンスや説明会、連絡事項については、学内掲示板、LMS（ラーニング・マネジメント・システム）で通知します。資格取得を希望する学生は、ガイダンスや説明会に参加し、連絡事項を常に確認するようにしてください。

履修登録は毎学期の初めに行いますが、資格取得を目指す場合、2年間計画的に履修していく必要があります。履修モデルを参考にして、自分が履修しなければならない科目をしっかりと把握し、履修漏れのないようにしてください。

	1年次	2年次
4月	オリエンテーション ガイダンス 前期履修登録 実習先希望調査（教育実習、保育実習）	オリエンテーション ガイダンス 前期履修登録
5月		保育実習Ⅰ（施設）
6月		教育実習Ⅱ
7月		
8月		
9月	オリエンテーション 後期履修登録	保育実習Ⅰ（保育所）
10月		オリエンテーション 後期履修登録 保育実習Ⅱ 保育士登録申請説明会
11月		
12月		教員免許状申請説明会
1月		保育実習Ⅲ
2月	教育実習Ⅰ	
3月		教員免許状交付
		4月初旬 保育士登録済通知書受取 6月 保育士証受取

※スケジュールはあくまで予定です。変更になる可能性があります。掲示等で確認してください。

## 8 保育士資格

### (1) 保育士とは

登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者と定義されています（児童福祉法第18条の4）。

保育士となる資格を有する者は、次のいずれかに該当する者とされています（同法第18条の6）。

①都道府県知事の指定する保育士を養成する学校その他の施設（以下「指定保育士養成施設」とい

### Ⅲ 履修について

---

う。)を卒業した者

#### ②保育士試験に合格した者

こども学科は、「指定保育士養成施設」としての指定を受けており、必要な単位を修得し、卒業要件を満たせば、保育士の資格を取得することができます。

卒業（修了）後、「保育士」として業務に就くには、事前に都道府県知事に対し保育士登録の申請を行い、「保育士証」の交付を受ける必要があります。一度登録されると、登録先を含む全国の都道府県において「保育士」として業務に就くことができます。

(2) 保育士課程カリキュラム

こども学科では、保育士資格の取得を希望する学生は、卒業要件を満たすほか、次表に掲げる保育士資格取得に関する科目を履修し、単位を修得しなければなりません。

厚生労働省告示による科目				こども学科 開設科目			保育士資格取得時の履修方法	
系列	教科目	授業形態	単位数	教科目	授業形態	単位数		
教養科目	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習	1	全て履修する	
				英語Ⅱ	演習	1		
	体育	講義	1	体育基礎	講義	1		
	体育	実技	1	体育実技	実技	1		
	その他			6以上	日本語表現法	演習		1
					情報処理Ⅰ	演習		1
					法律入門	講義		2
			現代の社会	講義	2			
	教養科目	計	10以上	教養科目	計	10		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	全て履修する	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		
	保育者論	講義	2	教職論	講義	2		
	計	14		計	14			
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅰ	講義	2	全て履修する	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅱ	講義	2		
	子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	1		
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		
	計	9		計	9			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	カリキュラム論	講義	2	全て履修する	
	保育内容総論	演習	1	保育内容の指導法（総論）	演習	1		
	保育内容演習	演習	5	保育内容の指導法（健康）	演習	1		
				保育内容の指導法（人間関係）	演習	1		
				保育内容の指導法（環境）	演習	1		
				保育内容の指導法（言葉）	演習	1		
				保育内容の指導法（表現）	演習	1		
	保育内容の理解と方法	演習	4	総合表現演習Ⅰ	演習	1		
				総合表現演習Ⅱ	演習	1		
				音楽表現Ⅰ	演習	1		
				造形表現	演習	1		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1		
	障害児保育	演習	2	特別支援教育演習Ⅰ	演習	1		
			特別支援教育演習Ⅱ	演習	1			
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1			
	計	20		計	20			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2	全て履修する	
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		
	計	6		計	6			
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2	履修する	
	必修科目	計	51	必修科目	計	51		
選択必修科目	保育に関する科目 （上記の系列により科目設定）		15以上	幼児と表現	講義	2	保育実習Ⅱと 保育実習指導Ⅱ 又は保育実習Ⅲと 保育実習指導Ⅲを 含む9単位以上 選択して履修する	
				幼児と人間関係	講義	1		
				幼児と健康	講義	1		
				幼児と環境	講義	2		
				教育方法論	講義	2		
				教育制度論	講義	1		
				レクリエーション論	講義	1		
				日本国憲法	講義	2		
				教育相談	演習	1		
				音楽表現Ⅱ	演習	1		
	音楽表現Ⅲ	演習	1					
	情報処理Ⅱ	演習	1					
保育実習Ⅱ 又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2			
保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習Ⅲ	実習	2			
			保育実習指導Ⅱ	演習	1			
			保育実習指導Ⅲ	演習	1			
	選択必修科目	計	18以上	選択必修科目	計	22		
	※18単位以上開設							
	保育士79単位	合計	79以上	保育士	合計	83		

### Ⅲ 履修について

#### (3) 保育実習

保育実習は、修得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟することを目的とし、次のとおり実施します。

実習種別	授業科目名称	単位数	実習施設	時期・日数	備考
保育実習Ⅰ (必修)	保育実習Ⅰ (保育所)	2	保育所	2年次前期・9月・ 10日間(80時間)	6単位 必修
	保育実習Ⅰ (施設)	2	施設	2年次前期・5月～ 6月・10日間(80 時間)	
	保育実習指導Ⅰ	2		2年次通年	
保育実習Ⅱ (選択必修)	保育実習Ⅱ	2	保育所	2年次後期・10月・ 10日間(80時間)	3単位 選択 必修
	保育実習指導Ⅱ	1		2年次通年	
保育実習Ⅲ (選択必修)	保育実習Ⅲ	2	施設	2年次後期・1月・ 10日間(80時間)	3単位 選択 必修
	保育実習指導Ⅲ	1		2年次後期	

#### ①保育実習Ⅰ (保育所)

保育の実際に接して、子どもと保育の全体について知ること、保育所の役割の概略を理解することを目的とする。また、子どもとの関わりを通じて、乳幼児の発達と保育の意義について理解する。

#### ②保育実習Ⅰ (施設)

施設養護に関する知識や技術に基づいて、社会福祉施設において実際に養護業務を体験することにより、福祉施設の機能、役割を理解することを目的とする。さらに、施設における保育士の役割と職務内容を具体的に理解するとともに、これまでの知識、技術の一層の向上を図ることをねらいとする。

#### ③保育実習指導Ⅰ

保育実習Ⅰ (保育所) 及び保育実習Ⅰ (施設) の事前事後指導を行う。

#### ④保育実習Ⅱ

保育所の保育を実践し、個性に応じて適切な保育ができる保育士として必要な資質・能力・技術を習得することと併せ、子どもをもつ家庭の福祉に対する理解を深め、子育てを支援するための能力を養う。

#### ⑤保育実習指導Ⅱ

保育実習Ⅱの事前事後指導を行う。

#### ⑥保育実習Ⅲ

児童厚生施設または児童発達支援センターその他社会福祉関係諸法令の規定に基づき設置されている施設における養護活動を実際に体験し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得するとともに、家庭と地域の生活状況を把握し、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、子育てを支援するために必要な能力を養うことを目的とする。

#### ⑦保育実習指導Ⅲ

保育実習Ⅲの事前事後指導を行う。

(4) 保育実習の実習施設希望調査

保育実習の履修を希望する場合は、1年次前期（4月）に実習施設の希望調査を行います。

実際に実習を行うのは2年次前期以降となりますが、早い時期から実習施設を調整する必要があります。実習施設の概要や実習中の交通手段があるか等を十分に考慮し、調査に回答してください。

(5) 保育実習の履修要件

保育実習を履修するには、下表の科目の単位を全て修得済みであることが条件になります。下表の科目に未修得の科目がある場合、当該科目のGPAが2.00以上の場合に限り、学科の判断で履修を認めることがあります。また、実習を履修するには、所定の実習指導を必ず受講すること。

【保育実習Ⅰ（保育所）及び保育実習Ⅰ（施設）】

1年次後期までの保育士資格必修科目のうち、次の単位を修得していること。

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数
教育及び保育の本質	社会福祉	1年次前期	2
	保育原理	1年次後期	2
教育及び保育の対象理解	生涯発達心理学Ⅰ	1年次後期	2
教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法（総論）	1年次前期	1
	特別支援教育演習Ⅰ	1年次後期	1

【保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲ】

2年次前期までの保育士資格必修科目のうち、次の単位を修得していること。

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数
基礎技能	音楽表現Ⅰ	1年次前期	1
	造形表現	1年次後期	1
教育及び保育の制度	子ども家庭福祉	1年次前期	2
教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法（言葉）	1年次後期	1
	子どもの保健	1年次後期	2

(6) 資格取得手続き

保育士登録申請は事務局がまとめて申請を行います。卒業時に本学が発行する「指定保育士養成施設卒業証明書」を添付し、本学から一括して、保育士資格の登録を行います。

登録決定後、3月末に登録事務処理センターより「保育士登録済通知書」が送付されます。

これは、「保育士証」が交付されるまでの間、登録済であることを暫定的に証明するものです。

登録手続きが完了すると、6月初旬～中旬に登録事務処理センターより「保育士証」が各自宛に簡易書留郵便で送付されます。

詳細は、2年次10月頃に行う「保育士登録申請説明会」で確認してください。

ただし、この手続きは3月卒業見込の場合のものです。9月卒業等の場合は、各自手続きをすることになります。

#### 9 幼稚園教諭二種免許状（教職課程）

(1) 教職課程とは

教職課程とは、教育職員免許法に基づいて授与される教育職員免許状を取得するための課程です。

卒業要件を満たし、かつ、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める単位を修得することにより、幼稚園教諭二種免許状を取得することができます。

(2) 教職課程カリキュラム

こども学科では、上記(1)に基づき、次表に掲げる幼稚園教諭二種免許状取得に関する科目を開設しています。取得を希望する学生は、次表の科目を履修し、単位を修得しなければなりません。

法令上の規定			こども学科開設	単位数	幼稚園教諭二種免許状取得時の履修方法		
法令による規定科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	単位数	教科目		必修	選択	備考
教育職員免許法施行規則第66条の6で特に必要なものとして定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	2		
	体育	2	体育基礎 体育実技	1 1	1 1		
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ	1 1	1 1		
	情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ	1 1	1 1		
	計	8	計	8	8	—	
第1欄 教科及び 教職に関する科目	第2欄 領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項  保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	幼児と環境	2	2		
			幼児と健康	1	1		
			幼児と表現	2	2		
			幼児と人間関係	1	1		
			保育内容の指導法(総論)	1	1		
			保育内容の指導法(健康)	1	1		
			保育内容の指導法(人間関係)	1	1		
			保育内容の指導法(環境)	1	1		
			保育内容の指導法(言葉)	1	1		
	保育内容の指導法(表現)	1	1				
	計	12	計	12	12		
	第3欄 教育の基礎的理解に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職論	2	2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育制度論	1	1		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程			生涯発達心理学Ⅰ	2	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育演習Ⅰ	1	1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			カリキュラム論	2	2		
計	6	計	10	10			
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	2		
		幼児理解の理論及び方法	子ども理解の理論と方法	1	1		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	1	1		
計	4	計	4	4			
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導Ⅰ	1	1		
			教育実習Ⅰ	1	1		
			教育実習指導Ⅱ	1	1		
		教育実習Ⅱ	3	3			
学校体験活動							
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	2			
計	7		8	8			
第6欄	大学が独自に設定する科目	2		—	—		第2～5欄で2単位以上開設しているため独自科目開設せず
計	31	計	34	34	—		

### Ⅲ 履修について

#### (3) 教育実習

教育実習は、教育職員免許法施行規則第6条に規定されている資格取得のための必修科目です。

教育実習は、学校現場での教育実践を通じて、学生自らが教職への適性や進路を考える貴重な機会であり、教職の意義についての体験的認識と理解を深め、教師としてのあり方を学ぶことを目的とし、次のとおり実施します。

実習種別	授業科目名称	単位数	時期・日数
教育実習 (必修科目)	教育実習Ⅰ	1	1年次後期・2月・5日間(40時間)
	教育実習Ⅱ	3	2年次前期・7月・15日間(120時間)
	教育実習指導Ⅰ	1	1年次後期
	教育実習指導Ⅱ	1	2年次前期

##### ①教育実習Ⅰ

大学で学んだ内容や方法論を基盤として、幼稚園での幼児の姿を観察し、幼児への理解を深め、総合的に教育する基礎を養うため、観察実習とする。

##### ②教育実習Ⅱ

観察実習である「教育実習Ⅰ」で学んだ内容を基盤に、幼稚園教諭としての職務を理解し、教育現場での実践を通して教員としての資質能力、特に実践的指導力を体得するための参加実習を行う。

##### ③教育実習指導Ⅰ、教育実習指導Ⅱ

教育実習Ⅰ及び教育実習Ⅱそれぞれの事前事後指導を行う。

#### (4) 教育実習の実習施設希望調査

教育実習の履修を希望する場合は、1年次前期(4月)に実習施設の希望調査を行います。

実際に実習を行うのは1年次後期以降となりますが、早い時期から実習施設を調整する必要があります。実習施設の概要や実習中の交通手段があるか等を十分に考慮し、調査に回答してください。

#### (5) 教育実習の履修要件

教育実習を履修するには、下表の科目の単位を全て修得済みであることが条件になります。下表の科目に未修得の科目がある場合、当該科目のGPAが2.00以上の場合に限り、学科の判断で履修を認めることがあります。また、実習を履修する際には、所定の実習指導を必ず受講すること。

##### 【教育実習Ⅰ】

1年次前期までの幼稚園教諭免許状取得のための必修科目の単位を修得していること。

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数
幼児教育の基礎	幼児と表現	1年次前期	2
	幼児と環境	1年次前期	2
教育及び保育の本質	教育原理	1年次前期	2
教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1年次前期	1

## 【教育実習Ⅱ】

1年次後期までの幼稚園教諭免許状取得のための必修科目の単位を修得していること。

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数
教育及び保育の計画と方法	保育内容の指導法（総論）	1年次前期	1
	保育内容の指導法（環境）	1年次後期	1
教育及び保育の対象理解	生涯発達心理学Ⅰ	1年次後期	2
教育及び保育の本質	教職論	1年次後期	2

## (6) 資格取得手続き

教育職員免許法で定める教育職員免許状取得の所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより、免許状を取得することができます。こども学科では、所在する宮城県教育委員会に一括申請します。

詳細は、2年次12月頃に行う「教員免許状申請説明会」で確認してください。

所定の手続きを経て、卒業式後に「教育職員免許状」を渡します。

**10 社会福祉主事任用資格**

## (1) 社会福祉主事任用資格とは

社会福祉主事は、都道府県、市及び福祉に関する事務所を設置する町村に置かれる職であり、福祉に関する事務所を置かない町村においても社会福祉主事を置くことができると定義されています（社会福祉法第18条第1項、第2項）。

社会福祉主事として任用されるための資格を社会福祉主事任用資格と言います。

社会福祉主事は、生活保護法、児童福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務とします（社会福祉法第18条第3項、第4項）。

社会福祉主事になるための任用資格は、年齢が20歳以上の者であって、人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ、次のいずれかに該当する者とされています（社会福祉法第19条）。

- ①大学、短大、旧制大学、旧制高等学校、旧制専門学校において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の単位を修得して卒業した者
- ②都道府県知事の指定する養成機関または講習会の課程を修了した者
- ③社会福祉士
- ④厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者
- ⑤①～④に掲げる者と同等以上の能力を有する者として厚生労働省令で定めるもの上記の任用資格を得て、地方公共団体の社会福祉主事に任用されてはじめて効力を発揮します。

なお、こども学科は①に該当します。

### Ⅲ 履修について

---

#### (2) 指定科目

こども学科が開設する科目のうち、指定科目は次のとおりです。

- ①保育原理
- ②社会福祉
- ③子ども家庭福祉
- ④教育原理

上記4科目のうち、3科目以上の単位を修得し、卒業することが必要です。

#### (3) 手続き

社会福祉主事任用資格については、資格証はなく、卒業証明書と学業成績証明書をもって資格要件を満たしていることを証明することになります。

## 11 その他

所定の単位の修得および手続きを行うことで、「レクリエーション・インストラクター」（日本レクリエーション協会）の資格を取得することができます。詳細は、「レクリエーション論」の講義内で説明します。